



2021年9月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年11月12日
上場取引所 東

上場会社名 長谷川香料株式会社
 コード番号 4958 URL <https://www.t-hasegawa.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼社長執行役員 (氏名) 海野 隆雄
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼専務執行役員 (氏名) 中村 稔 TEL 03-3241-1151
 定時株主総会開催予定日 2021年12月22日 配当支払開始予定日 2021年12月6日
 有価証券報告書提出予定日 2021年12月23日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2021年9月期の連結業績（2020年10月1日～2021年9月30日）

（1）連結経営成績

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期	55,755	11.1	6,859	28.1	7,466	27.4	6,763	32.9
2020年9月期	50,192	△0.6	5,356	14.5	5,861	13.2	5,090	23.5

（注）包括利益 2021年9月期 8,688百万円（163.5%） 2020年9月期 3,297百万円（-%）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年9月期	163.63	163.00	7.1	6.4	12.3
2020年9月期	122.79	122.34	5.6	5.2	10.7

（参考）持分法投資損益 2021年9月期 ー百万円 2020年9月期 ー百万円

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年9月期	120,945	98,301	81.1	2,385.69
2020年9月期	113,445	92,218	81.1	2,217.96

（参考）自己資本 2021年9月期 98,051百万円 2020年9月期 91,990百万円

（3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年9月期	9,980	△14,130	△2,733	18,863
2020年9月期	6,387	△431	△1,511	25,360

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年9月期	ー	18.00	ー	22.00	40.00	1,658	32.6	1.8
2021年9月期	ー	22.00	ー	33.00	55.00	2,268	33.6	2.4
2022年9月期(予想)	ー	29.00	ー	30.00	59.00		33.3	

3. 2022年9月期の連結業績予想（2021年10月1日～2022年9月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	59,200	6.2	7,630	11.2	8,090	8.4	7,290	7.8	177.37

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）、除外 ー社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年9月期	42,708,154株	2020年9月期	42,708,154株
② 期末自己株式数	2021年9月期	1,608,431株	2020年9月期	1,233,044株
③ 期中平均株式数	2021年9月期	41,335,042株	2020年9月期	41,458,341株

(注) 1株当たり当期純利益（連結）の算定の基礎となる株式数については、添付資料18ページ「3. 連結財務諸表及び主な注記（5）連結財務諸表に関する注記事項（1株当たり情報）」をご覧ください。

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年9月期の個別業績（2020年10月1日～2021年9月30日）

(1) 個別経営成績 (%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期	37,362	1.5	3,891	5.1	4,449	△13.9	4,819	△0.0
2020年9月期	36,821	△2.2	3,704	△3.4	5,168	19.6	4,821	△4.6

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期	116.59	116.14
2020年9月期	116.30	115.87

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年9月期	106,168	86,968	81.7	2,109.95
2020年9月期	104,748	86,034	81.9	2,068.85

(参考) 自己資本 2021年9月期 86,718百万円 2020年9月期 85,805百万円

2. 2022年9月期の個別業績予想（2021年10月1日～2022年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,100	2.0	4,100	5.4	4,550	2.3	4,920	2.1	119.71

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

当社は、2021年11月25日（木）にライブ配信による機関投資家及びアナリスト向け決算説明会を開催する予定です。決算説明会資料は、TDnetで同日開示するとともに、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
連結損益計算書	8
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更)	14
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	14
(会計方針の変更)	14
(セグメント情報等)	15
(1株当たり情報)	18
(重要な後発事象)	18

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、企業収益や個人消費に弱さが見られるなど、厳しい状況にありました。また、感染の動向が国内外の経済活動に与える影響が懸念され、依然として先行きは不透明な状況で推移いたしました。

香料業界は、国内市場の成熟化、同業者間での競争激化、品質保証に関する要求増加など依然として厳しい状況にありました。

このような環境の中で、当社グループは製品の品質管理と安全性の確保を第一に、研究・技術開発力の一層の向上に努め、当社独自の高品質・高付加価値製品の開発に注力してまいりました。

当社グループでは、新型コロナウイルス感染症の影響により、日本国内において外出自粛、在宅勤務や飲食店等の休業・時短要請に伴う消費低迷等による業績への影響が生じましたが、食品部門では新製品の寄与、フレグランス部門ではトイレタリー製品向けの売上増加により堅調に推移いたしました。一方、海外では新型コロナウイルス感染症の影響は軽微であり、中国子会社及び米国子会社が好調に推移したほか、2020年12月に新たに連結子会社となった米国のMISSION FLAVORS & FRAGRANCES, INC. (以下、MISSION社)の業績が当社グループの連結経営成績に寄与しました(前連結会計年度は実績なし)。

この結果、当連結会計年度におきましては、売上高は55,755百万円(前連結会計年度比11.1%増)と増収となりました。なお、当社単体の売上高は前連結会計年度比1.5%の増収、主要な海外連結子会社の売上高は、中国子会社が前連結会計年度比26.6%の増収(現地通貨ベースでは同17.8%の増収)、米国子会社(MISSION社を含む)が前連結会計年度比49.5%の増収(現地通貨ベースでは同50.0%の増収)、マレーシア子会社が前連結会計年度比10.7%の増収(現地通貨ベースでは同8.7%の増収)となりました。

部門別に見ますと、食品部門は、MISSION社の売上寄与及び中国子会社の売上増加を主因に前連結会計年度比11.5%増加し、48,115百万円となりました。

フレグランス部門は、当社単体の売上が増加したことを主因に前連結会計年度比8.6%増加し、7,640百万円となりました。

利益につきましては、営業利益は、MISSION社の株式取得関連費用、並びに同社ののれん等の償却額の計上等に伴い、販売費及び一般管理費が増加したものの、売上増及び売上原価率の改善による売上総利益の増加を主因に前連結会計年度に比べ1,503百万円(28.1%)増加し、6,859百万円となりました。経常利益は前連結会計年度に比べ1,605百万円(27.4%)増加し、7,466百万円となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、経常利益の増加、並びに投資有価証券売却益を特別利益に計上したことを主因に、前連結会計年度に比べ1,672百万円(32.9%)増加し、6,763百万円となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(流動資産)

前連結会計年度に比べ、現金及び預金が2,453百万円、受取手形及び売掛金が1,591百万円それぞれ増加した一方で、有価証券が8,000百万円減少しました。これらを主因として、流動資産は前連結会計年度に比べ3,771百万円減少し、55,242百万円となりました。

(固定資産)

有形固定資産は、前連結会計年度に比べ、建設仮勘定が627百万円増加したことを主因として、前連結会計年度に比べ749百万円増加し、30,094百万円となりました。

無形固定資産は、当連結会計年度において、当社の連結子会社であるT. HASEGAWA U. S. A., INC. がMISSION社の全株式を取得し連結の範囲に含めたことにより、のれん及び顧客関連資産を計上したことを主因として、前連結会計年度に比べ、12,874百万円増加し、16,713百万円となりました。

投資その他の資産は、投資有価証券を売却したことを主因として、前連結会計年度に比べ2,352百万円減少し、18,894百万円となりました。

(流動負債)

前連結会計年度に比べ、未払法人税等が1,022百万円増加したことを主因として、流動負債は前連結会計年度に比べ1,342百万円増加し、11,604百万円となりました。

(固定負債)

前連結会計年度に比べ、投資有価証券を売却したことを主因として繰延税金負債が349百万円減少した一方で、退職給付に係る負債が192百万円、その他が257百万円増加したことを主因に、固定負債は前連結会計年度に比べ75百万円増加し、11,040百万円となりました。

(純資産の部)

前連結会計年度に比べ、利益剰余金が4,938百万円、為替換算調整勘定が3,169百万円それぞれ増加した一方で、その他有価証券評価差額金が1,279百万円減少しました。これらを主因として、純資産合計は前連結会計年度に比べ6,082百万円増加し、98,301百万円となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は前連結会計年度末に比べ6,497百万円減少(前連結会計年度は4,461百万円増加)し、18,863百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は9,980百万円(前連結会計年度は6,387百万円増加)となりました。これは主に税金等調整前当期純利益が9,692百万円、減価償却費が3,186百万円であった一方で、法人税等の支払額が1,693百万円、投資有価証券売却及び評価損益が2,265百万円であったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は14,130百万円(前連結会計年度は431百万円減少)となりました。これは主に子会社株式の取得による支出が12,885百万円、定期預金の預入が3,724百万円、同払戻が3,146百万円であったことと、有形固定資産の取得による支出2,572百万円、投資有価証券の売却による収入2,235百万円が、それぞれあったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は2,733百万円(前連結会計年度は1,511百万円減少)となりました。これは主に配当金の支払が1,824百万円、自己株式の取得が846百万円であったことによるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2018年9月期	2019年9月期	2020年9月期	2021年9月期
自己資本比率	79.6 %	79.2 %	81.1 %	81.1 %
時価ベースの自己資本比率	84.1 %	72.6 %	77.3 %	90.7 %
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	0.03 %	0.00 %	1.63 %	3.31 %
インタレスト・カバレッジ・レシオ	9,281.6 倍	13,905.7 倍	2,059.7 倍	1,109.2 倍

自己資本比率	:	自己資本／総資産
時価ベースの自己資本比率	:	株式時価総額／総資産
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	:	有利子負債／キャッシュ・フロー
インタレスト・カバレッジ・レシオ	:	キャッシュ・フロー／利払い

- (注) 1. 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。
 2. 株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。
 3. キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。
 4. 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

今後のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の収束時期が見通せない中、感染の動向が国内外の経済活動に与える影響等が懸念され、先行きが不透明な状況が続くことが見込まれます。

香料業界におきましても、各社のシェア獲得競争の一層の激化、品質保証に関する要求増加など厳しい状況が続くことが予想されます。

このような状況の中で、当社グループは、「技術立社」の社是のもと、研究・技術開発力の一層の向上により、特長のある差別化された製品開発を行うとともに、生産性の向上や業務全般の効率化によるコスト削減に努めてまいります。

また、変化の著しい経営環境や不測の事態に柔軟に対応し、今後の当社グループの成長を追求するためには、少子高齢化に伴う成熟化が進行する国内市場でのシェア拡大に努める一方で、グローバル展開を更に強化していくことが不可欠です。当社が重点地域と位置付ける中国、東南アジアを中心としたアジア地域及び米国において、経営資源を効率的に投入し、市場の成長性や消費者の嗜好等を的確に捉え、経営環境の変化に応じた事業戦略を立案・推進してまいります。また、将来にわたる持続的成長の実現に向けた投資等を行い、海外市場での業績拡大を目指してまいります。

新型コロナウイルス感染症の今後の収束時期を正確に予測することは困難な状況であり、感染の動向は依然として不透明であります。2022年9月期はその影響が継続すると仮定しております。その仮定に基づき、2022年9月期通期の連結売上高は59,200百万円（前連結会計年度比6.2%増）、営業利益は7,630百万円（前連結会計年度比11.2%増）、経常利益は8,090百万円（前連結会計年度比8.4%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は7,290百万円（前連結会計年度比7.8%増）を予定しております。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、グループ経営基盤のより一層の強化と今後の事業展開のために必要な内部留保を確保しつつ、株主の皆様に応じた利益還元を図るため、連結ベースで配当性向35%程度を目途に中間配当と期末配当の年2回の剰余金の配当を行うことを基本方針としております。

なお、当社は、「会社法第459条第1項の規定に基づき、取締役会の決議をもって剰余金の配当等を行うことができる」旨定款に定めており、剰余金の配当は取締役会を決定機関としております。

当事業年度の年間配当につきましては、1株当たり55円の配当（うち中間配当22円）を実施することを決定いたしました。この結果、当事業年度の連結ベースの配当性向は33.6%となりました。

内部留保資金につきましては、設備投資とグローバル化戦略の展開を図るための有効投資に使用してまいります。

なお、当事業年度に係る剰余金の配当は以下のとおりであります。

決議年月日	配当金の総額（百万円）	1株当たり配当額（円）
2021年5月7日取締役会決議	912	22
2021年11月12日取締役会決議	1,356	33

次期の年間配当につきましては、1株当たり59円（うち中間配当29円）を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当連結会計年度 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,584	19,037
受取手形及び売掛金	15,471	17,063
有価証券	12,000	3,999
商品及び製品	7,161	7,516
仕掛品	170	120
原材料及び貯蔵品	6,901	6,444
その他	737	1,077
貸倒引当金	△13	△17
流動資産合計	59,013	55,242
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	38,942	40,402
減価償却累計額	△23,027	△24,425
建物及び構築物(純額)	15,915	15,977
機械装置及び運搬具	34,926	35,691
減価償却累計額	△30,931	△31,542
機械装置及び運搬具(純額)	3,995	4,148
工具、器具及び備品	7,432	7,784
減価償却累計額	△6,232	△6,711
工具、器具及び備品(純額)	1,200	1,072
土地	6,793	6,829
建設仮勘定	1,440	2,067
有形固定資産合計	29,345	30,094
無形固定資産		
のれん	572	6,043
顧客関連資産	2,414	9,711
その他	852	958
無形固定資産合計	3,839	16,713
投資その他の資産		
投資有価証券	19,838	17,930
繰延税金資産	614	575
退職給付に係る資産	17	21
その他	828	422
貸倒引当金	△51	△55
投資その他の資産合計	21,246	18,894
固定資産合計	54,431	65,703
資産合計	113,445	120,945

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当連結会計年度 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,743	5,000
未払法人税等	630	1,653
賞与引当金	1,431	1,550
役員賞与引当金	74	59
その他	3,381	3,340
流動負債合計	10,261	11,604
固定負債		
繰延税金負債	2,992	2,643
退職給付に係る負債	7,121	7,314
資産除去債務	69	63
長期未払金	648	629
その他	131	388
固定負債合計	10,965	11,040
負債合計	21,226	22,644
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,364	5,364
資本剰余金	7,298	7,305
利益剰余金	71,169	76,107
自己株式	△1,820	△2,630
株主資本合計	82,012	86,147
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,551	10,272
為替換算調整勘定	△1,316	1,852
退職給付に係る調整累計額	△256	△221
その他の包括利益累計額合計	9,978	11,903
新株予約権	228	250
純資産合計	92,218	98,301
負債純資産合計	113,445	120,945

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
売上高	50,192	55,755
売上原価	30,783	33,106
売上総利益	19,408	22,648
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	947	1,061
給料及び手当	6,114	6,477
賞与引当金繰入額	954	1,010
役員賞与引当金繰入額	74	59
退職給付費用	524	549
福利厚生費	1,152	1,304
減価償却費	885	1,172
のれん償却額	135	572
その他	3,263	3,581
販売費及び一般管理費合計	14,052	15,788
営業利益	5,356	6,859
営業外収益		
受取利息	95	117
受取配当金	307	274
為替差益	—	147
その他	138	116
営業外収益合計	541	655
営業外費用		
支払利息	3	8
為替差損	10	—
その他	22	39
営業外費用合計	36	48
経常利益	5,861	7,466
特別利益		
固定資産売却益	359	—
投資有価証券売却益	867	2,265
特別利益合計	1,227	2,265
特別損失		
固定資産廃棄損	59	38
特別損失合計	59	38
税金等調整前当期純利益	7,028	9,692
法人税、住民税及び事業税	1,774	2,670
法人税等調整額	163	259
法人税等合計	1,938	2,929
当期純利益	5,090	6,763
親会社株主に帰属する当期純利益	5,090	6,763

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
当期純利益	5,090	6,763
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,989	△1,279
為替換算調整勘定	142	3,169
退職給付に係る調整額	52	35
その他の包括利益合計	△1,793	1,925
包括利益	3,297	8,688
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	3,297	8,688
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,364	7,297	67,570	△1,856	78,377
当期変動額					
剰余金の配当			△1,492		△1,492
親会社株主に帰属する当期純利益			5,090		5,090
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		0		35	36
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	0	3,598	35	3,634
当期末残高	5,364	7,298	71,169	△1,820	82,012

	その他の包括利益累計額				新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	13,540	△1,459	△309	11,771	195	90,344
当期変動額						
剰余金の配当						△1,492
親会社株主に帰属する当期純利益						5,090
自己株式の取得						△0
自己株式の処分						36
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△1,989	142	52	△1,793	32	△1,760
当期変動額合計	△1,989	142	52	△1,793	32	1,874
当期末残高	11,551	△1,316	△256	9,978	228	92,218

当連結会計年度(自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,364	7,298	71,169	△1,820	82,012
当期変動額					
剰余金の配当			△1,825		△1,825
親会社株主に帰属する当期純利益			6,763		6,763
自己株式の取得				△846	△846
自己株式の処分		6		36	43
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	6	4,938	△809	4,135
当期末残高	5,364	7,305	76,107	△2,630	86,147

	その他の包括利益累計額				新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	11,551	△1,316	△256	9,978	228	92,218
当期変動額						
剰余金の配当						△1,825
親会社株主に帰属する当期純利益						6,763
自己株式の取得						△846
自己株式の処分						43
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△1,279	3,169	35	1,925	21	1,947
当期変動額合計	△1,279	3,169	35	1,925	21	6,082
当期末残高	10,272	1,852	△221	11,903	250	98,301

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	7,028	9,692
減価償却費	2,868	3,186
のれん償却額	135	572
長期未払金の増減額(△は減少)	△238	△19
株式報酬費用	69	65
賞与引当金の増減額(△は減少)	134	83
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	12	△14
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△18	7
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	198	242
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	1	△3
受取利息及び受取配当金	△403	△391
支払利息	3	8
為替差損益(△は益)	23	△62
有形固定資産売却損益(△は益)	△318	△0
無形固定資産売却損益(△は益)	△39	—
固定資産廃棄損	59	38
投資有価証券売却及び評価損益(△は益)	△867	△2,265
売上債権の増減額(△は増加)	351	△1,087
たな卸資産の増減額(△は増加)	437	584
仕入債務の増減額(△は減少)	△661	△7
未払消費税等の増減額(△は減少)	△56	2
その他	△13	649
小計	8,704	11,284
利息及び配当金の受取額	397	398
利息の支払額	△3	△8
法人税等の支払額	△2,712	△1,693
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,387	9,980
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,952	△3,724
定期預金の払戻による収入	2,636	3,146
有形固定資産の取得による支出	△3,150	△2,572
有形固定資産の売却による収入	590	1
有形固定資産の除却による支出	△30	△26
無形固定資産の取得による支出	△108	△166
無形固定資産の売却による収入	42	—
投資有価証券の取得による支出	△36	△138
投資有価証券の売却による収入	2,578	2,235
子会社株式の取得による支出	—	△12,885
投資活動によるキャッシュ・フロー	△431	△14,130

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△0	—
自己株式の取得による支出	△0	△846
自己株式の売却による収入	0	0
リース債務の返済による支出	△19	△61
配当金の支払額	△1,491	△1,824
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,511	△2,733
現金及び現金同等物に係る換算差額	17	385
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	4,461	△6,497
現金及び現金同等物の期首残高	20,898	25,360
現金及び現金同等物の期末残高	25,360	18,863

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

当連結会計年度において、当社の連結子会社であるT. HASEGAWA U. S. A., INC. が、MISSION FLAVORS & FRAGRANCES, INC. (所在地: 米国 カリフォルニア州) の全株式を取得したため、連結の範囲に含めております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2021年5月7日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づく自己株式の取得及びその具体的な取得方法として東京証券取引所における自己株式立会外買付取引 (ToSTNeT - 3) による買付けを行うことを決議し、2021年5月10日に自己株式400,000株を取得いたしました。この結果、当連結会計年度において自己株式が845百万円増加するなどしたため、当連結会計年度末において自己株式が2,630百万円となっております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、当社取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは各種香料を生産・販売しておりますが、中国・マレーシア・米国における生産と販売、そしてインドネシアにおける販売を現地法人が担当し、それ以外の国外と国内については当社が担当しております。現地法人はそれぞれ独立した経営単位であり、当社が作成したグローバル戦略に基づき、各地域における戦略を立案し、事業活動を展開しております。したがって、当社グループは、生産・販売体制を基礎とした各会社の所在地別のセグメントから構成されており、「日本」、「アジア」、「米国」の3つを報告セグメントとしております。なお、当連結会計年度において、当社の子会社であるT.HASEGAWA U.S.A., INC.が、MISSION FLAVORS & FRAGRANCES, INC. (所在地 米国 カリフォルニア州)の全株式を取得したため、同社を報告セグメント「米国」に含めております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されているセグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1) (注2)	連結財務諸表 計上額 (注3)
	日本	アジア	米国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	36,130	7,923	6,138	50,192	-	50,192
セグメント間の内部売上高又は振替高	700	173	115	989	△989	-
計	36,831	8,096	6,254	51,181	△989	50,192
セグメント利益	3,729	1,029	549	5,307	48	5,356
セグメント資産	105,132	17,080	8,867	131,080	△17,635	113,445
その他の項目						
減価償却費	1,959	534	374	2,868	-	2,868
受取利息	10	90	4	105	△9	95
支払利息	0	4	5	9	△6	3
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	1,507	456	1,516	3,481	-	3,481

(注) 1. セグメント利益の調整額48百万円は、内部損益取引に係る調整額48百万円、セグメント間取引に係るたな卸資産の調整額3百万円、その他△3百万円であります。

2. セグメント資産の調整額△17,635百万円は、セグメント間取引に係る内部取引及び全社資産の調整額△17,464百万円、セグメント間取引に係るたな卸資産の調整額△171百万円、その他0百万円であります。

3. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1) (注2)	連結財務諸表 計上額 (注3)
	日本	アジア	米国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	36,710	9,863	9,181	55,755	—	55,755
セグメント間の内部売上高又は振替高	660	155	105	921	△921	—
計	37,370	10,018	9,287	56,676	△921	55,755
セグメント利益	3,930	2,218	662	6,810	48	6,859
セグメント資産	106,574	20,809	24,669	152,053	△31,107	120,945
その他の項目						
減価償却費	1,921	575	689	3,186	—	3,186
受取利息	37	116	1	155	△37	117
支払利息	1	6	3	11	△2	8
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	1,521	436	809	2,767	—	2,767

(注) 1. セグメント利益の調整額48百万円は、内部損益取引に係る調整額57百万円、セグメント間取引に係るたな卸資産の調整額△4百万円、その他△3百万円であります。

2. セグメント資産の調整額△31,107百万円は、セグメント間取引に係る内部取引及び全社資産の調整額△30,949百万円、セグメント間取引に係るたな卸資産の調整額△158百万円、その他0百万円であります。

3. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位:百万円)

	フレグランス	食品	合計
外部顧客への売上高	7,032	43,159	50,192

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位:百万円)

日本	アジア地域	北米地域	その他	合計
32,448	11,571	5,764	408	50,192

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位:百万円)

日本	アジア	米国	その他	合計
19,462	6,604	3,277	—	29,345

(注) 有形固定資産の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位:百万円)

	フレグランス	食品	合計
外部顧客への売上高	7,640	48,115	55,755

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位:百万円)

日本	アジア地域	北米地域	その他	合計
32,671	13,869	8,597	616	55,755

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位:百万円)

日本	アジア	米国	その他	合計
19,018	7,147	3,928	—	30,094

(注) 有形固定資産の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)

(単位:百万円)

	日本	アジア	米国	その他	合計
当期償却額	—	135	—	—	135
当期末残高	—	572	—	—	572

当連結会計年度(自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)

(単位:百万円)

	日本	アジア	米国	その他	合計
当期償却額	—	137	434	—	572
当期末残高	—	459	5,583	—	6,043

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自 2019年10月1日 至 2020年9月30日）
該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2020年10月1日 至 2021年9月30日）
該当事項はありません。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)		当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)	
1株当たり純資産額	2,217円96銭	1株当たり純資産額	2,385円69銭
1株当たり当期純利益	122円79銭	1株当たり当期純利益	163円63銭
潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	122円34銭	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	163円00銭

(注) 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	5,090	6,763
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	5,090	6,763
期中平均株式数(株)	41,458,341	41,335,042
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (百万円)	—	—
普通株式増加数(株)	154,859	159,593
(うち新株予約権(株))	(154,859)	(159,593)

(重要な後発事象)

該当事項はありません。